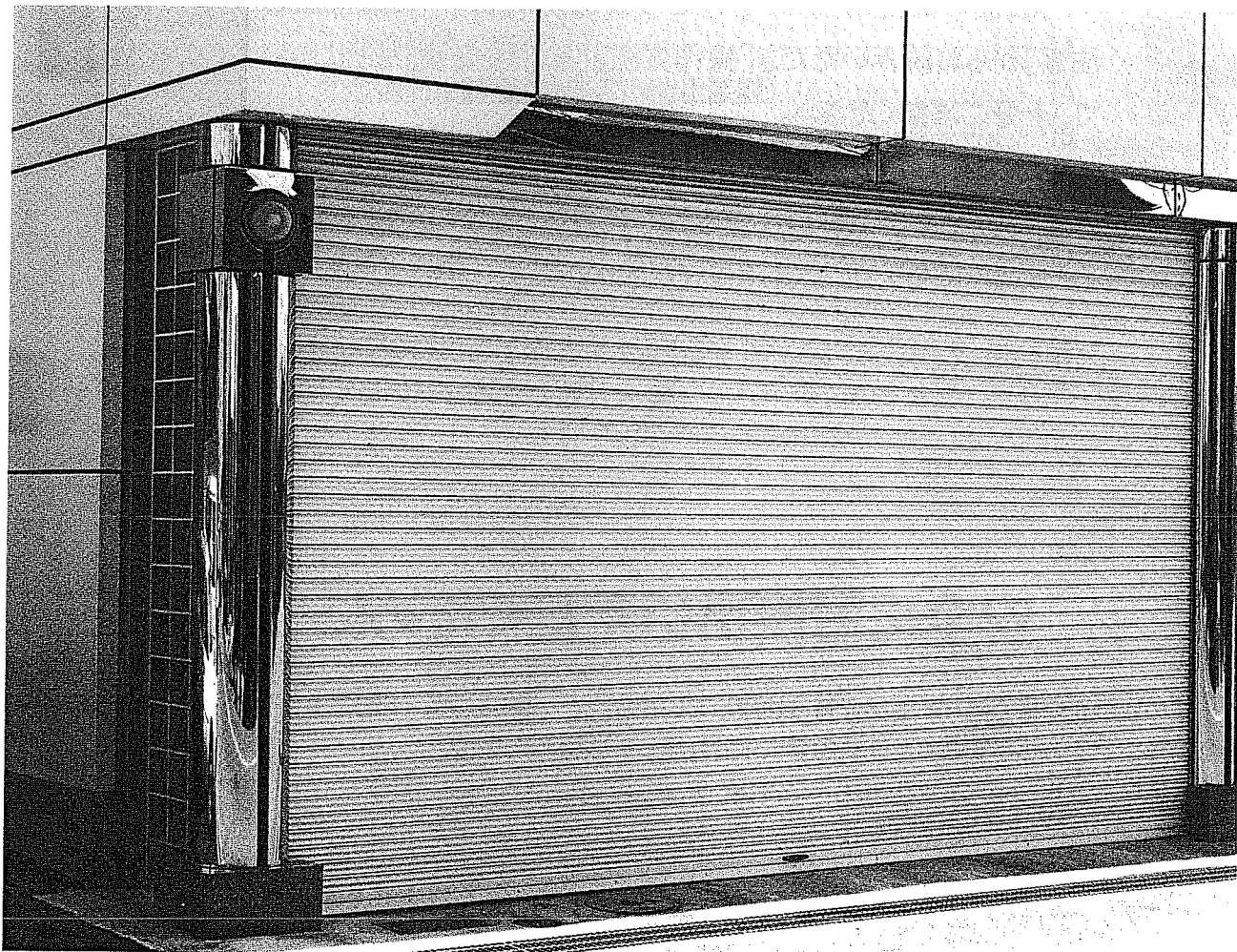
TOYO Shutter

重量シャッター

取扱説明書

⚠警告　この『取扱説明書』をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
また、大切に保管し、わからないときは再読してください。

※建設会社・施主の皆様へお願い
この『取扱説明書』を実際にご使用される方にお渡しください。

東洋シヤッター株式会社

電動式・手動式シャッター

2. 停電時の操作(電動式)=通常時の操作(手動式)

電動式シャッターの停電時の操作方法と手動式シャッターの通常時の操作方法は同じです。

⚠警告

停電時の操作は「緊急必要時」以外は行わないでください。
やむをえず操作をする場合は、下記の事項を確認してください。

- 高所作業になるため不安定な姿勢にならないよう、足場を確保して十分に安全を確認してから作業を行ってください。
- シャッターを閉鎖するときは、シャッターの下に『人がいないこと』を必ず確認してください。
- 操作の前にまず点検口を開けてシャッターの電源スイッチ(シャッター各部の名称を参照してください。)を切ってください。電源スイッチが入ったまま作業をすると途中で電気が復帰したとき、急にシャッターが電動で動いて人がはさまれるおそれがあります。
- ハンドルの使用後は必ず取り外してください。付けたまま電動で操作するとハンドルが高速回転し、外れた場合には人に当たりけがをするおそれがあります。
- ハンドル式の開閉機の場合は、ハンドルをしっかり持って操作してください。

⚠注意

シャッターの故障を招く原因となりますので、次の注意事項を守ってご使用ください。

- シャッターを閉鎖するときは、シャッターの下に『物がないこと』を確認してください。
- シャッターが上限付近に達したところで、チェーンまたはハンドルの操作をやめてください。さらに操作をつづけるとシャッターを過剰に巻き込み、使用できなくなるおそれがあります。

⚠注意

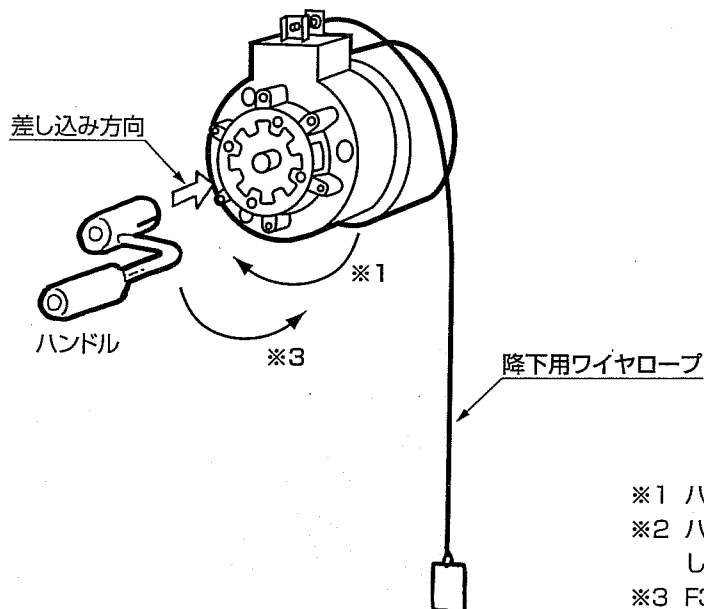
- 停電時の操作の前にまず点検口を開けてシャッターの電源スイッチを切ってください。

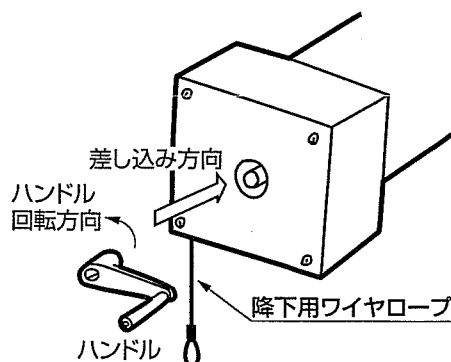
■開放するとき

シャッターの点検口を開けて、ハンドルまたは、チェーンを操作します。

ハンドル式

開閉機に付属のハンドルを開閉機の差込口に差し込んで回してください。

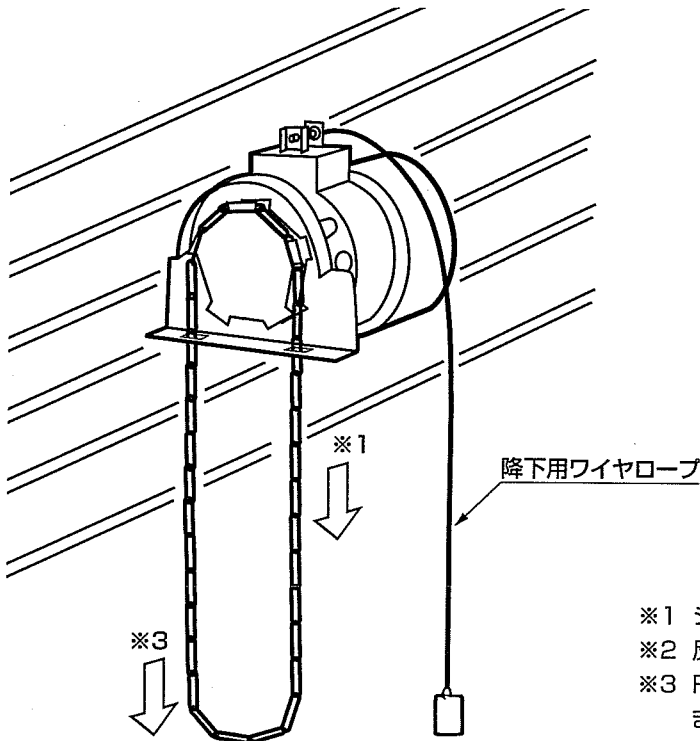
F4A、F6、F10、H10、F6H、F10H、F36、H36、F36H型開閉機

※1 ハンドルは一定方向にのみ回ります。
※2 ハンドルは反対方向へ回りませんので回転する方向に回してください。
※3 F36、H36は3段減速なので矢印の方向に回してください。

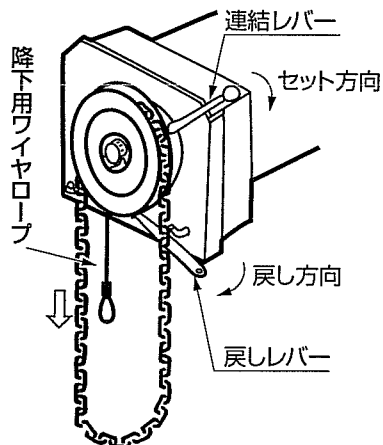
H62、H105、H170、H520型開閉機

※ハンドル操作を行うときは、必ず開閉機の電源が切られていることを確認してください。確認後、ハンドルを開閉機のハンドル口に差し込み、降下用ワイヤロープを引きながらハンドル回転方向に回してください。万が一、ハンドル操作をしている途中で、開閉機が電動で動き出すとハンドルが高速回転し、けがをするおそれがあります。
※ハンドル操作の途中でハンドルから手を離すときは、必ず降下用ワイヤロープを先に離してください。降下用ワイヤロープを引いたままハンドルから手を離すと、ハンドルが高速回転し、けがをするおそれがあります。
※ハンドル操作後は、必ずハンドルを外してください。ハンドルを差し込んだままシャッターを動かすと、ハンドルが高速回転し、またはハンドルが外れて開閉機を破損したりけがをするおそれがあります。

※使用後は、点検口を必ず閉めてください。

チェーン式

開閉機に付属のチェーン（鎖）を点検口から下へのばし、からんでいないことを確認してください。次に表示の方向へチェーンを引いてください。

F4A、F6、F10、H10、F6H、F10H、F36、H36、F36H型開閉機

※1 シャッターから遠い方のチェーンを引いてください。
※2 反対方向には回りません。
※3 F36、H36は3段減速なのでシャッターに近い方になります。

H62、H105、H170型開閉機

※チェーン操作を行う場合は、チェーン装置の連結レバーをロックする位置まで下に押し下げてください。チェーン装置のギヤと開閉機のギヤとがかみ合って、チェーン操作が可能となります。（チェーン装置内部の保護スイッチが働いて開閉機が電動では動かなくなります。）
※この状態で開閉機の降下用ワイヤロープを引かないでください。降下用ワイヤロープを引くとチェーンが高速回転し、けがをするおそれがあります。
※シャッターを巻き上げるときは、シャッターに近い方のチェーンを引いてください。
※チェーン操作後は、必ずチェーン装置の戻しレバーを下に引いて、チェーン装置と開閉機の連結を解除してください。チェーン装置内部の保護スイッチが解除されて、開閉機が電動で動くようになります。

※使用後は、点検口を必ず閉めてください。

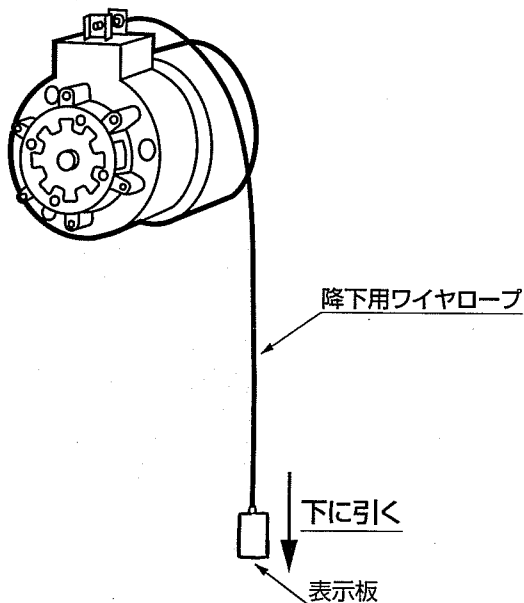
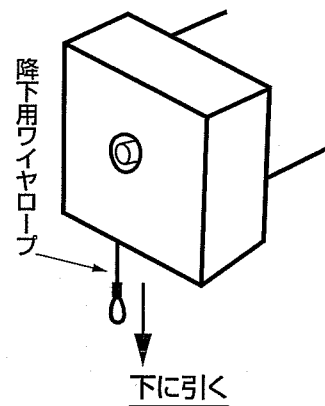
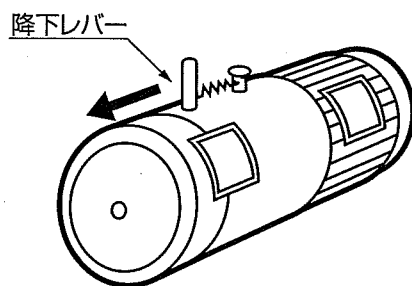
2 重量シャッターの操作方法

2. 停電時の操作（電動式）＝通常時の操作（手動式）

■閉鎖するとき（ハンドル式・チェーン式とも同じ操作です。）

ハンドル式の場合は、ハンドルが差し込まれていないことを確認してから降下用ワイヤロープを引いてください。ハンドルを差し込んだまま降下用ワイヤロープを引くとハンドルが高速回転します。外れた場合には人に当たり人身事故になるおそれがあります。

シャッターの点検口を開けて、手動降下用ワイヤロープを引けばシャッターは降下します。

F4A、F6、F10、H10、F6H、F10H、F36、H36、F36H型開閉機

H62、H105、H170型開閉機

H520型開閉機

H520型のみ、ブレーキ解放レバーを矢印の方向へ引きます。

※使用後は、点検口を必ず閉めてください。